



天草

市政だより

日本の宝島 “天草”の創造を目ざして！

平成23年

5.1

No.122



主な内容

- 平成23年度 施政方針 …………… 2～7
- 平成23年度 当初予算 …………… 8～9
- 第1次天草市総合計画後期基本計画を策定…10～11
- 第2次天草市行財政改革大綱を策定…12～15
- 議会報告 ……………16～17
- 市政に関するアンケート結果報告…18～20
- 子ども総合相談室を開設 ……………21
- 九州新幹線全線開業記念インタビュー…22～23
- 宝島のわだい ……………24～27
- みんなの広場など ……………28～31

うまか“高菜漬け”のでくっぞ～

3月28日、新和町小宮地の立海水浴場付近の海辺で、高菜を冷たい海水に浸して^{たて}いねいにもみ込む人たちの姿が見られました。この作業は、生の高菜を天日で干した後に行われるもので、塩分に浸すことと高菜に付いている汚れを洗い流すことが目的。太陽と海の恵み、そして、作り手の愛情にたっぷり漬かったおいしい“高菜漬け”ができます。

平成23年度 施政方針

第1回市議会定例会の冒頭で、安田市長が平成23年度施政方針を表明しました。今回、施政方針の概要を6つの重点事項ごとに分けて紹介します。また、あわせて主な事業とその予算額についてもお知らせします。(※金額は万円未満を四捨五入)

1 豊かな産業づくり

経済状況が依然として厳しい中、活力ある天草の創造には、農林水産業を中核とした各種産業の振興を図ることが、大きな課題であります。とりわけ、基幹産業である農林水産業の振興と地場産業の育成は重要ですので、重点的に施策を実施します。

まず、農業については、農地の集積を図り、生産費の低減を図るため、環境との調和を図りながら、生産基盤の整備などを実施していきます。また、農林水産業を核にし

て、第2次産業・第3次産業との連携による第6次産業の創出を推進するため、引き続き、オリーブ栽培を通じた地域振興やオリーブの加工、商品開発・販売などの取り組みを行なう、「オリーブの島づくり」を進めるとともに、農林水産物の販路拡大やブランド化を図るため、都市部でのインショップ(デパート・スーパー内の専門店)の展開、農林水産物フェアの開催など、産業の振興と雇用の創出を総合的に推進していきます。

次に、減少する担い手を確保するため、新規就農者や就農希望者の支援、地縁的な営農集団や農作業受託組織の育成、共同利用組合の組織化を進めながら、本年度から本格的に実施される国の農業所得補償制度や、野菜などの価格安定対策に取り組み、農家所得の向上と経営の安定を図っていきます。耕作放棄地につきましては、放棄の状況に応じた対策を講じて再生に努め、有効利用と農産物の生産拡大を図っていきます。

また、田舎暮らしや二地域居住を志向する都市住民を対象に、都市農村交流事業や空き家バンクの充実による移住・定住事業を推進し、交流人口の拡大と中・長期の滞在型観光農業による農地の保全と農村の活性化を図っていきます。



▶天草産材の利用間伐を行うようす

す。また、天草産材の需要拡大とあわせて、建築関連の雇用促進へつながる木材利用に関する助成制度に取り組みしていきます。

水産業では、つくり育てる漁業のさらなる推進を図るため、種苗放流による水産資源の持続的利用に努め、魚礁設置や自然石投入による稚魚育成場の整備を行い、漁業の生

産力向上を図ります。また、水産加工排水処理対策として、浄化施設の整備に対する支援を行い、漁場環境の保全に努めていきます。さらに、漁港の整備では、漁業集落の環境整備や漁港と漁場の一体的、計画的な整備により、漁港の機能強化や老朽化した既存施設の機能保全に努めていきます。

2 魅力ある観光地づくり

観光は、関連する産業のすそ野が広く、地域経済への波及効果が最も期待される分野で、しかも、文化的な側面から社会的な側面まで、多様な価値を生み出す産業でもあります。天草の経済を再生し地域を活性化させるには、定住人口だけでなく、交流人口の拡大を目ざした取り組みが強く求められており、魅力ある観光地づくりは、その起爆剤になるものと考えています。

本年3月12日、いよいよ九州新幹線が全線開業いたしますが、人、そして人を介する生の情報や特産物が行き交うようになれば、天草に埋もれているビジネスチャンスや観光素材が発掘されるなど、さまざまな効果が期待できます。そこで、交流客を天草に引き込む絶好の機会と捉え、「新幹線開業対策事業」に取り組み、その中心事業として、ノンパビリオン型(展示場を持たない)の博覧会「天草海道博」を開催します。

さらに、受け入れ態勢の強化を図るために、新幹線の停車駅である鹿児島県出水市と蔵之元港間のシャトルバスを1日4往復に増便し、これと天草周遊バスとを連結させて、南の玄関口・牛深方面からの交通アクセスの改善と市南部地域の交流拡大を図ります。



▲鹿児島県の出水駅と蔵之元港を結ぶシャトルバス

また、「牛深ハイヤ祭り」が40周年を迎えますので、本年度を「ハイヤ・イヤ」に位置づけ、年間を通じた記念事業を展開し、交流客の呼び込みを図ります。

一方、最近では自然や地域の文化・暮らしに触れる観光が注目されています。そういった意味では、本市は素材の宝庫であり、キリシタン文化をはじめとする特有の歴史、イルカウォッチングや農家・漁村民泊、各種ツアーリズムの体験、天草陶磁器や水産加工など独自の産業をはじめ、先般、国の重要文化的景観に選定された崎津の漁村景観など島特有の景観は、現代の旅行者が求める優れた素材でもありません。これらをいかした観光商品の開発、天草型ツアーリズムの実践や教育旅行の誘致を推進し、交流人口の拡大を図っていきます。

ジオパークにつきましては、「天草御所浦ジオパーク」の充実と並行して、ジオパークの範囲を天草全域に広げ、天草地域全体の活性化を図られるよう、昨年12月に天草地域の2市1町で構成する「天草ジオパーク構想推進協議

- 新幹線開業対策事業 [新幹線の開業に合わせた「天草海道博」の開催や、「牛深ハイヤ祭り」40周年記念事業への補助などを行う]…………… 7,590万円
- 出水天草間交通アクセス導入等事業補助金 [出水駅～蔵之元港間のシャトルバスの運行や牛深～本渡間の観光周遊バスの運行などを行う]… 2,300万円
- 観光バスガイド事業 [島内観光周遊バスに係るバスガイド事業を委託し、雇用機会の確保と、天草観光の満足度アップによる誘客を目指す]… 839万円
- ジオパーク推進事業 [「天草ジオパーク構想」を推進する協議会への負担や、ジオサイトの解説板の設置などにより、世界ジオパークネットワークの認定を目指す]…………… 985万円

3 快適な生活環境づくり

住みよい環境の中で、健康で生きがいを持ち、私たちが心豊かに生活するうえで基本となる、快適な生活環境づくりを推進するため、次のような施策を展開していきます。

まず、水道事業では、近年、水の安全性に対する関心が高まっている中、未普及地域では、水量の減少や水質の悪化により、生活への支障が懸念されていることから、水道事



▲重要文化的景観の選定を目ざす
倉岳町棚底地区の「防風石垣を巡らす集落景観」

業の拡張計画や小規模水道施設補助金など関連事業を活用しながら、市民に均衡あるサービスの提供ができるよう、普及の推進に取り組んでいきます。本市南部の水源確保につきましては、路木ダムの早期完成に向けて、県と連携しながら推進していきます。

次に、公営住宅では、老朽化や耐震性に対応した営繕事業により保全しつつ、小規模

- 公営住宅等長寿命化計画策定事業〔公営住宅などの長寿命化を図るため、団地別・住棟別の状況を把握し活用手法を定め、維持・管理計画を作成する〕……………1,050万円
- あまくさ宝島NPO応援事業〔地域の課題解決に取り組むNPOなどの事業の中で、新たな雇用創出の機会を伴う事業について、委託することで財政支援を行う〕…1,265万円
- 医療対策事業〔医師確保対策や医療・福祉・保健の連携方策などを協議する機関を設置する〕……………43万円
- 子ども総合相談室設置事業〔子どもや子育てに関する総合相談の窓口となる「子ども総合相談室」を設置する〕……………454万円

団地で需要も低い老朽化住宅の集約化によって適正な配置に努めます。また、居住性・安全性の確保や福祉対応などとともに、計画的な改善に向け「長寿命化計画」を策定し、適切な住宅管理と住環境整備を継続していきます。

次に、ともに助けあい、支えあう社会をつくるために、「市民活動支援事業補助金」を創設し、公（おおやけ）を担うパートナーとして、NPOをはじめとする市民活動団体の支援などを行い、市民との協働を重視した政策を

展開していきます。

市民の健康増進の関連では、「天草市健康増進計画」や「天草市食育推進計画」に基づき、「運動」食改善「健康」をリンクした保健事業を展開していきます。人間ドックにつきましては、5歳刻みから3歳刻みで受診できるよう本年4月から対象者を拡大します。

予防接種につきましては、4月からヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチン接種に補助を行い、対象年齢者に接種機会を提供することで、これらの疾病の発症や重症化を予防し、市民の健康増進と医療費の節約につながるよう取り組んでいきます。

市立4病院につきましては、御所浦地区の3診療所も含めた病院改革プランを実施しており3年目に入ります。改革の目標である、地域で必要とされる医療の確保と、病院事業の収支均衡を目ざし、医師確保への取り組み強化や看護職配置の見直し、患者サービスの向上の一環として接遇

研修なども実施します。

そのほか、一般会計繰入金については、繰入基準の明確化と医療収支の改善に努め、地方公営企業としての経営基盤の安定化を図っていきます。

地域医療再生臨時特例交付金による「熊本県地域医療再生計画」では、天草地域医療再生推進会議をはじめ、医師確保、遠隔医療システムの構築、ヘリポート設置の各ワーキングに参加し、県と関係医療機関との協議や連携を図りながら、本計画を推進していきます。また、天草市における地域医療を総合的に推進するための協議会を設置し、医師確保など独自の施策の検討や、医療と保健・福祉との連携を推進していきます。

次に、地域福祉では、少子高齢化、孤独死、虐待、自殺の問題など、地域社会が抱える問題の変化に伴い、住民のつながりを再構築し、支えあう体制を実現するために、市民・社会福祉協議会・行政の連携による「地域福祉ネットワーク事業」を積極的に推進していきます。

4 地域を担う人づくり

障がい者福祉につきましては、障がいを持つ人が地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関の連携を深め、さらなる福祉サービスの充実に努めていきます。

子育て支援では、子どもや子育てに関する相談窓口を明確にし、専門職を配置することにより、専門的でより適切な支援、行政サービスを受けることができる「子ども総合相談室」を設置し、子どもたちの健全育成と子育て家庭の支援などの充実を図っていきます。

通じた自身の介護予防と生きがいづくり、社会参加を推進していきます。

防災につきましては、自主防犯組織の育成・支援や消防関係資機材の整備、防火水槽や消火栓の設置など、消防水利の整備を進め、地域消防力の維持に努めるとともに、地域における災害への備えを強化し、安心・安全なまちづくりを推進していきます。

文化振興では、世界遺産登録を推進するため、長崎県や関係機関・団体と連携を取りながら、先ごろ、重要文化的景観に選定された「天草市崎津の漁村景観」の二次申し出を行う今富地区を含めた地域、「大江教会と農村景観」の早期選定を目ざします。また、崎津地区については、「景観をいかした地域づくり」として、街なみ環境整備事業に取り組みしていきます。

さらに、倉岳町棚底地区の「防風石垣を巡らす集落景観」の重要文化的景観選定と棚底城跡の保存・管理計画の策定にも、取り組んでいきます。

地域づくりの基本は、住民の皆さんが地域にある資源をいかしながら、主体的に地域づくり活動に取り組んでいただくことが重要です。まちづくり協議会や地区振興会については、誕生から5年が経過する中で、各地域で個性ある地域づくりや地域が抱える課題解決に向けた活動が進められています。本年度は、地域

リーダーの育成や実務者研修、講演会の開催を行うほか、各地区振興会が平成21年度に策定された地区振興計画の実現に向け、積極的に支援していきます。

男女共同参画社会の実現については、市民の自主的な活動と交流の場を提供し、行政と市民が協働で男女共同参画社会をつくりあげていくための

拠点施設として、「男女共同参画センター」を設置します。

教育関連では、学校教育において、学校訪問指導の計画的な実施や、研究指定校としての研究成果の全学校への普及などにより、教職員の指導力向上を図り、確かな学力の向上に支援を行っていきます。また、学習指導補助教員や学校司書を継続して配置することにより、きめこまやかな指導の充実、児童・生徒の読書活動の推進をさらに図っていきます。



▲2月に開かれた男女共同参画に関するイベント「2011天草つんのでフェスタ」のようす

- 男女共同参画センター設置事業〔日本渡南公民館に「男女共同参画センター」を設置することに伴う経費〕……………392万円
- (仮称)五和小学校建設事業〔五和地区の新統合小学校建設のため実施設計を行う〕…2,184万円
- 天草市体育館整備事業〔耐震性能不足のため解体する、天草市体育館の建設に伴う基本・実施設計を行う〕……………4,341万円
- 国際交流事業〔ポルトガル共和国・フンシャル市との姉妹都市締結や米国・エンシニタス市との人的交流のほか、市内在住外国人と市民との交流イベントなどを開催する〕……………419万円

いじめや不登校問題に対しては、天草市教育相談事業を中心とした取り組みの充実を図り、教育指導アドバイザーや教育相談カウンセラーなどによる適切な指導や支援を実施します。また、問題行動などの未然防止や早期発見のため、校内支援体制の充実や関係機関との連携にも取り組んでいきます。

学校規模の適正化では、学校統合の枠組みごとに推進体制を整え、計画の実現に向けて取り組んでいます。本年4月に新和小学校と大多尾小学校が統合しますが、今後、保護者や地域の皆さんのご理解を得ながら学校規模の適正化を推進し、よりよい教育環境の整備と教育効果の向上を図っていきます。

学校施設の関係では、耐震化対策に重点を置き、安心・安全に配慮した環境整備に努めていきます。今年度は、牛深小学校の改築事業と五和地区の小学校と中学校の建設推進や施設整備を図っていきます。

図書館については、本年度

住民サービスの向上を図られ、さらには民間通信事業者との連携による放送・通信面での地域格差是正に、多くの効果があつていと考えています。今後は、医療分野や防災分野などで利活用を推進し、市民の安心・安全に直結した情報化に取り組んでいきたいと考えています。

新庁舎の建設については、本庁舎は築44年が経過し、老朽化の進行、会議室や駐車場の慢性的な不足に加え、バリアフリー対策なども遅れており、耐震基準も十分に満たしていません。さらに、本館と別館が離れており、市民の皆さんにはたいへん不便をおかけしています。平成27年度までの合併特例債の活用を考えますと、残された期間の中で、基本構想の策定から基本設計、実施設計など、順をおって早急に進める必要がありますので、今年度の本庁舎建設検討委員会を設置し、市民の皆さんのご意見をうかがいながら、事業を推進していききたいと考えています。

から祝日開館を実施し、利用者の利便性の向上に努めるとともに蔵書の充実を行い、市民の読書活動の推進に努めていきます。

スポーツの振興では、さまざまなライフスタイルに対応できるスポーツ環境の整備に努めていきます。そのため、引き続き「総合型地域スポーツクラブ」の設立や健康増進のためのニュースポーツなどの普及に取り組むとともに、天草国際トライアスロン大会をはじめとする各種スポーツ大会などの開催を通して、競技力の向上を含めたスポーツ振興を図ることで、活力ある地域づくりを旨とします。また、解体中の旧天草市民センター体育館の建て替えに取り組んでいきます。

国際交流では、姉妹都市を締結している米国のエンシニタス市との交流を促進するとともに、本市の歴史的資産であるキリシタン文化や南蛮文化とかかわりの深い、ポルトガル共和国のフンシャル市との姉妹都市締結を旨として、交流を推進していきます。

5 機能的な社会基盤づくり

快適で利便性の高いまちづくりを進めるには、道路や情報通信網などの社会基盤の整備が必要です。

3月12日には、いよいよ九州新幹線が全線開業しますが、新たな人の流れを天草に呼び込むためにも、熊本天草幹線道路の重要性がますます高まっています。現在までに、熊本宇土道路、新天門橋を含む大矢野バイパスが事業化さ

れており、第二天草瀬戸大橋を含む本渡道路(仮称)については、昨年8月に選定された最適ルート帯において、道路予備設計や環境調査が進められていきますので、早期に整備区間の指定を受け、事業化されるよう関係機関に強く要望してまいります。

また、本市の海の玄関口である本渡港や牛深港の周辺地域において、港を核としたま



▲第二天草瀬戸大橋を含む本渡道路(仮称)の最適ルート帯

- **みなとまちづくり推進事業** [天草の海の玄関である本渡港や、牛深港を核としたみなとまちづくりなど港の将来像について検討し、地域振興とともに港湾計画への提言書の取りまとめを行う]……………1,005万円
- **市道改良(単独)事業** [大規模、小規模、災害防除の単独工事]……………3億4,316万円
- **六田団地線道路改良(交付金)事業** [老朽化の進んでいる六田橋(牛深町)の架け替え工事を行う]……………3,670万円
- **天草市庁舎建設事業** [天草市本庁舎の建設に向け「天草市本庁舎建設検討委員会」(仮称)を設置するとともに、基本計画を作成する]……………1,075万円

ちづくりを推進するため、「みなとまちづくり基本計画」の策定や、港湾計画などへの提言を行ってまいります。

九州西岸軸の基幹道路となる島原・天草・長島連絡道路などの整備については、産業振興や地域間交流などさまざまな分野で効果が期待され、天草地域の振興・発展と切り離せない課題です。関係自治体等と連携しながら、早期実現を求めて国などへ要望活動を行ってまいります。

次に情報化の推進では、各種電算システムの構築により

6 環境と共生のまちづくり

地球温暖化や生物多様性などの問題解決のためには、市民生活や経済活動が及ぼす地球環境への負荷を最小限にするため、廃棄物の削減と積極的な再利用の推進、限りある

資源や再生可能エネルギーの有効活用など、資源循環型社会を構築する必要があります。まず、老朽化が進んでいる本渡衛生センター、牛深し尿処理場の更新施設として、し尿・浄化槽汚泥を再生処理する「バイオオマスセンター」の建設については、建設予定地の選定など、事業の具体化に向け、関係各位のご理解を得ながら取り組んでいきます。

次に、「環境マネジメントシステム」ISO14001については、本年12月に審査機関による4回目の更新審査を迎えますが、これまでの実績を踏まえ、自己宣言し、独自の手法での実践も可能との判断から、本年度自己宣言方

式へ移行していききたいと考えています。

ごみの減量やリサイクルなどによる資源化につぎましては、平成25年度までにごみ排出量の8%削減、資源化率の30%向上を旨とし、排出抑制、分別徹底への意識高揚を図ってまいります。また、レジ袋削減やマイバック運動の推進につぎましては、関係団体の代表者会議において、市内全域での取り組みとして、本年10月からのスタートを旨とすとされました。さらに、自然環

境保全対策として、海岸漂着ごみの清掃ボランティア団体などへの支援、不法投棄防止啓発による海・川の自然環境と景観保全へ継続的に取り組んでいきます。

また、花いっぱい運動の取り組みでは、地域全体へ運動を普及・啓発するため、花づくり実演会や花苗等の配布、シンボル花壇の設置、花コンクールなどを実施する「天草花咲きプロジェクト」を推進し、景観からの魅力ある島づくりに取り組んでいきます。

次に、新エネルギーの利活用推進では、住宅用太陽光発電システムの導入について、国、県の補助制度の動向を踏

まえながら、引き続き普及・推進に取り組んでいきます。また、大規模太陽光発電施設については、公共施設などへの導入促進や電気自動車を使ったモビリティ(移動)社会の実証など、太陽光エネルギーの有効利用についての調査・研究に取り組んでいきます。

次に、本年7月にアナログテレビ放送が終了し、地上デジタル放送へ完全に移行されますが、地上デジタル放送の難視聴地域については、共同受信施設の整備促進、難視聴相談体制の充実など、万全の対策を取り、円滑な移行に努めてまいります。

- **ゴミ減量・資源化対策事業** [ごみの減量・資源化を推進するための啓発・広報活動を実施する]……………3,065万円
- **天草花咲プロジェクト事業** [花咲プロジェクトを推進するため、花壇コンクールの開催、花苗の配布などを行う]……………412万円
- **住宅用太陽光発電システム設置費補助金** [住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を助成する]…4,500万円
- **バイオマスタウン事業** [バイオマスタウン構想を推進するとともに、バイオマスセンター整備に係る事業手法の可能性を調査する]……………420万円



▲花いっぱい運動に取り組む子どもたち

一般会計予算は 493億2,490万円

◆特別会計の予算額

区 分	平成23年度	前年度比較	増減率
国民健康保険	144億5,578万円	2億7,353万円	1.9%
老人保健医療	0	▲756万円	▲100%
介護保険	97億4,369万円	3億1,213万円	3.3%
後期高齢者医療	11億8,118万円	▲9,207万円	▲7.2%
公共下水道事業	13億1,298万円	8,431万円	6.9%
特定環境保全公共下水道事業	4億3,093万円	▲2億5,267万円	▲37.0%
農業集落排水事業	5,415万円	146万円	2.8%
漁業集落排水事業	7億1,081万円	▲1億2,366万円	▲14.8%
浄化槽市町村整備推進事業	1億7,551万円	213万円	1.2%
簡易水道事業	14億2,904万円	▲3億3,192万円	▲18.8%
国民健康保険診療施設	1億8,548万円	▲1,707万円	▲8.4%
歯科診療所	4,737万円	▲25万円	▲0.5%
埠頭事業	2,159万円	1,022万円	89.9%
斎場事業	8,579万円	▲1,374万円	▲13.8%
一町田財産区	379万円	56万円	17.3%
新合財産区	64万円	▲2万円	▲3.6%
富津財産区	10万円	▲1万円	▲5.9%
合 計	298億3,883万円	▲1億5,464万円	▲0.5%

別表1

※▲=マイナス

◆企業会計の予算額

区 分	平成23年度	前年度比較	増減率	
病院事業	収益的収入	38億8,558万円	9,218万円	2.4%
	収益的支出	38億8,558万円	9,218万円	2.4%
	資本的収入	2億9,654万円	6,309万円	27.0%
	資本的支出	4億9,334万円	7,914万円	19.1%
水道事業	収益的収入	14億 205万円	▲2,326万円	▲1.6%
	収益的支出	13億5,871万円	▲2,519万円	▲1.8%
	資本的収入	9億5,792万円	2億2,636万円	30.9%
	資本的支出	17億 843万円	2億4,919万円	17.1%

別表2

※▲=マイナス

企業会計

企業会計は、商店や会社などの民間企業と同じように、その事業で得た収入をもって支出をする独立採算制の会計で、地方公営企業法により設置しているものです。

本市では、病院事業と水道事業を企業会計で処理しています。※それぞれの予算額は別表2のとおりです。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計の歳入歳出と区分して会計処理をするために設置するもので、その設置は法律や条例で認められています。

本市では、国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療、公共下水道事業など16の特別会計を設けています。

※それぞれの予算額は別表1のとおりです。

一般会計

一般会計の予算額は493億2,490万円で、前年度と比べると6億8,286万円の減少となっています。

平成23年度の当初予算が、第1回市議会定例会で決まりました。「日本の宝島、天草」の創造」をまちづくりの基本理念とする第1次天草市総合計画の着実な推進に向けて、予算を編成しています。

今号では、平成23年度の予算について紹介します（※1・金額は万円未満を、構成比と増減率は表示単位未満を四捨五入しています。※2・一般会計と特別会計における前年度数値との比較は、平成22年6月補正後の予算額を基にしています）。

【歳入】

歳入は、市税や使用料・手数料など、市が自主的に収入できる「自主財源」と、地方交付税や国・県の支出金、国や金融機関などから借り入れる市債などの「依存財源」に分けられます。

平成23年度の自主財源は、103億5,581万円で、歳入総額に占める割合は21.0%（前年度20.5%）となっています。一方、依存財源は389億6,909万円

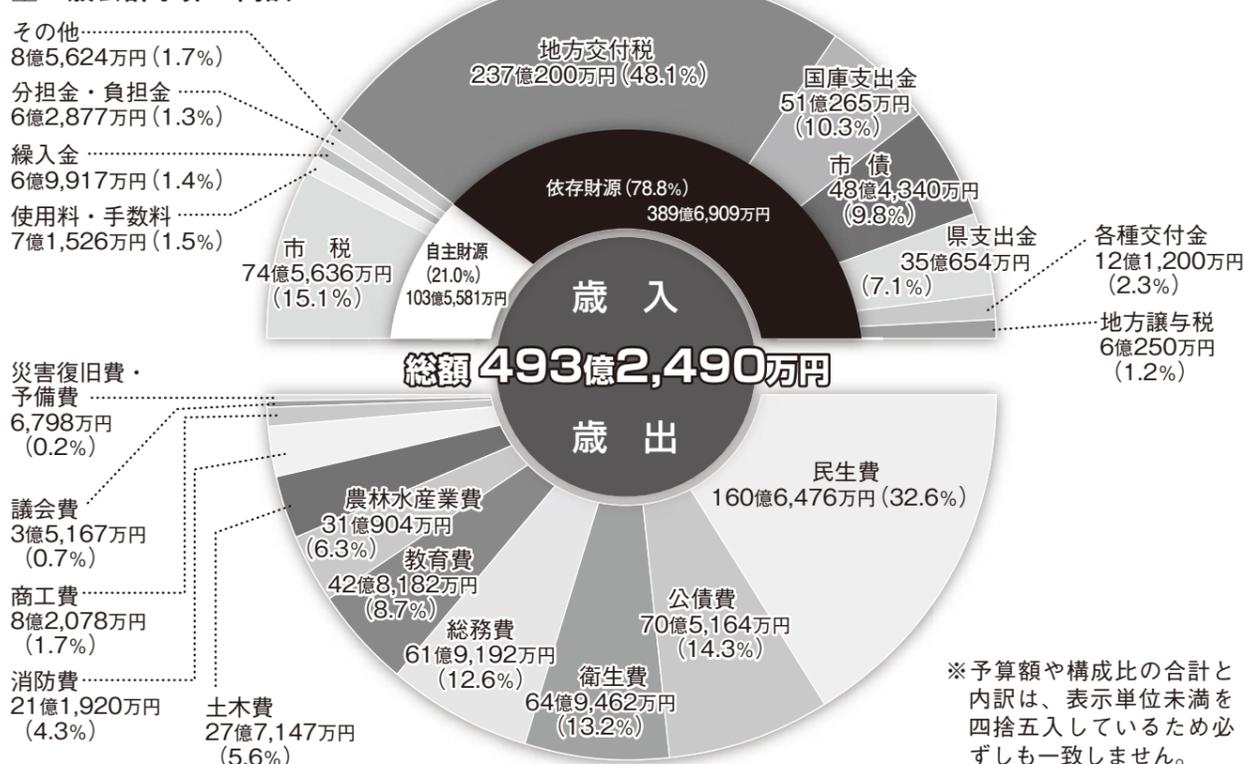
【歳出】

歳出は、使われるお金の目的によって、民生費や総務費など12項目に分けられます。

今年度の予算で最も大きな割合を占めているのは民生費（32.6%）です。民生費とは、お年寄りや障がいのある人に対する福祉の充実、子育て環境の充実などに使われる費用です。

これに続いて、公債費、衛生費、総務費、教育費、農林水産業費の順になっています。

◆一般会計予算の内訳



※予算額や構成比の合計と内訳は、表示単位未満を四捨五入しているため必ずしも一致しません。

「第1次天草市総合計画後期基本計画」を策定

市では、市総合計画策定審議会（会長＝上野眞也・熊本大学教授、ほか委員13人）からの答申を踏まえ、平成23年度から同26年度までの4年間を計画期間とする「第1次天草市総合計画後期基本計画」を策定しました。今号では、同計画の概要についてお知らせします。

第1次天草市総合計画の位置づけと役割

第1次天草市総合計画は、市民と行政との協働により、総合的・計画的に行政運営を行うための指針であり、本市における最上位の計画です。

また、長期的な展望のもとで、本市の目指すべき姿を描き、これを実現するための基本的な方策を明らかにしたもので、次のような役割を持っています。

■本市の将来像と、それを達成するための市政の目標を総合的かつ体系的に示し、計画的に市政

を運営していくための指針。

■市民の皆さんをはじめ、各種団体や民間企業などに対し市政運営の指針を示し、理解と協力を得ながら、まちづくりへの自発的な参画を求める。

■国や県に対して、本市の主体的なまちづくりの方向性を明らかにし、計画の実現に向け積極的な支援と協力を要請する。

構成と期間

同計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」によって構成し、それぞれ次のような位置づけと計画期間となっています（下図参照）。

■基本構想…本市のまちづくりの全領域にわたる長期的な目標（本市の都市としてのあるべき姿、目指すべき方向）を示すもの。計画期間は、平成19年度から同26年度までの8年間。

■基本計画…本市の現状と解決すべき課題を把握したうえで、基本構想の実現に向けたまちづく

りの施策の方向を総合的・体系的に示すもの。計画期間は、前期と後期の各4年。

■実施計画…基本計画に基づく具体的な施策を展開するためのもの。計画期間は、その時々諸事情の変化などに応じて、市民ニーズの高いもの、より大きな政策効果を得られるものから計画的に個々の事業を実施していくため3年間とし、毎年度、計画内容の見直しを行う。

◆構成



まちづくりの理念

日本の宝島「天草」の創造

◆期間



後期基本計画の概要

市民の皆さんと行政との協働による「日本の宝島“天草”の創造」の実現に向けて、前期基本計画の取り組みを総括・評価し、取り組むべき事項や重点的に実施する事業について策定しました。

総合計画の基本構想に掲げた6つの「まちづくりの基本方針」を「施策の柱」とし、都市の将来像の実現を目指します。

施策ごとの概要は、次のとおりです。

豊かな産業づくり

- 農林水産業の振興と基盤整備
- 天草ブランドの確立による産業振興
- 連携による地場産業の育成・強化
- 安定供給による販売ルートの確立
- 雇用促進と就業環境の整備
- 商工業の振興
- 各産業分野を担う人材の育成

魅力ある観光地づくり

- 観光振興
- 「天草の魅力」再発見
- 天草型ツーリズムの推進

快適な生活環境づくり

- 人にやさしいまちづくり
- 人と人が支え合うまちづくり
- 保健・医療・福祉サービスの充実
- 災害等に強いまちづくり
- 文化の薫るまちづくり

都市の将来像

- 九州西岸地域の「交流拠点都市」
- 未来を拓く「産業都市」
- 心豊かに暮らせる「市民都市」

地域を担う人づくり

- コミュニティ活動の推進
- すべての人が共に生きる社会づくり
- 学校教育のレベル向上
- 生涯学習・スポーツの推進
- 大学・研究機関等との連携
- 国際交流の推進

機能的な社会基盤づくり

- 地域高規格道路の整備促進
- 道路の整備促進
- 港湾・空港の機能充実
- 情報化の推進

環境と共生のまちづくり

- 環境にやさしいまちづくり
- 自然にやさしい環境づくり
- 景観形成の推進

※「第1次天草市総合計画後期基本計画」については、本庁・企画課や牛深支所・総務振興課、その他の支所・総務市民課、各出張所に備え付けています。また、市のホームページでもご覧いただけます。

【問い合わせ先】本庁・企画課企画調整係 ☎ 1111内線1314

10年後の天草市を見据えた 持続可能な行財政運営の確立を目ざして

市では、市行政改革審議会（中川竹治会長ほか委員18人）からの答申を踏まえ、平成23年度から同26年度までの4年間を推進期間とする「第2次天草市行財政改革大綱」を策定しました。今号では、同大綱の基本的な考え方や取り組みの概要についてご紹介いたします。

これまでの取り組み

市では、平成18年度に『第1次天草市行政改革大綱』（推進期間：平成18年度から同22年度まで）を策定し、市民との協働による行財政運営の推進など3つの基本方針を柱として、31の実施（推進）項目における行政改革に取り組みました。

同期間中は、「市民と行政の協働指針」をはじめ「財政健全化計画」、「定員適正化計画」など、行

を策定・推進するとともに、市民活動団体への支援や、効率的・機能的な組織機構の見直しなどを実施。このように、新たな制度の創設や多くの計画を策定し実行してきたことは、新市としての一体性の醸成につながりました。

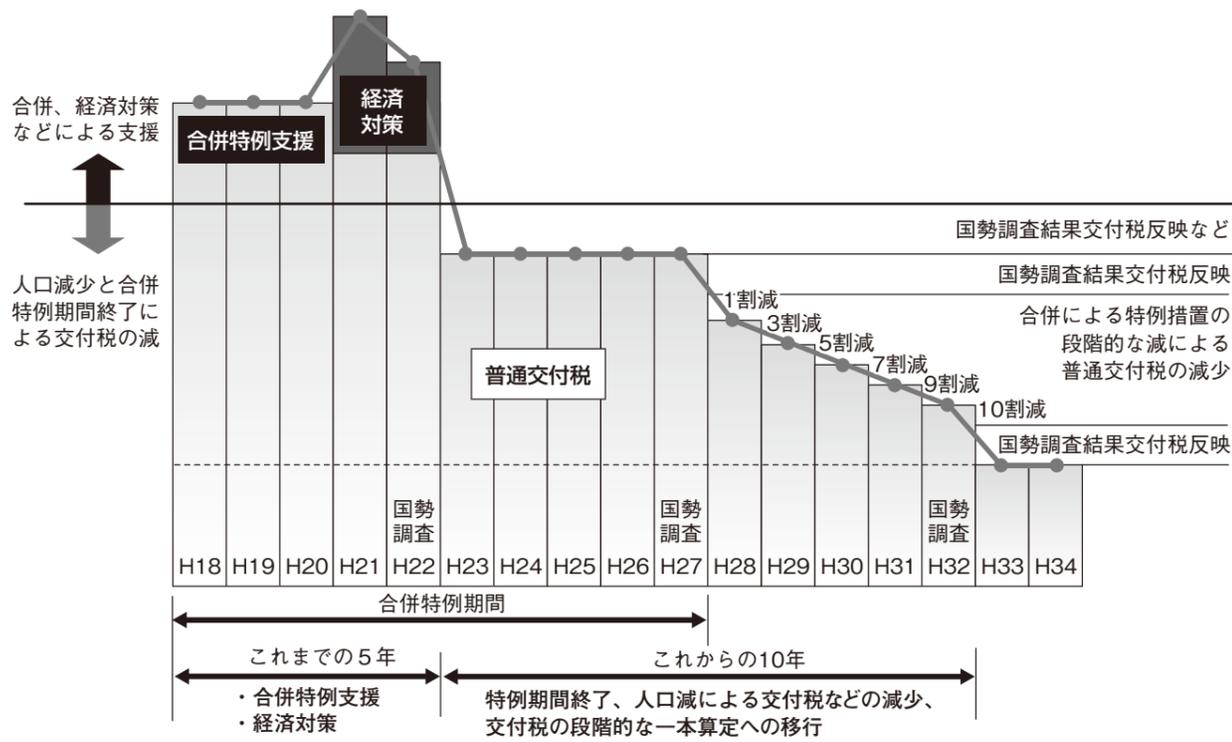
また、市有財産の利活用と売却、物件費の抑制など、目標に掲げた項目のうち、約半数については目標を達成し、「職員定員の適正化」と「公の施設の管理運営の見直し」などについては目標達成には至らなかったものの、確実にその成果は現れています。

なぜ行財政改革が必要なのか

● 財政の硬直化への懸念
第1次行政改革においては、国や県の合併特例支援や行政改革の取り組みにより、市債現在高は減少し財政調整基金の残高は増加するなど、財政の健全化に向けた効果が現れています。しかし、毎年の決算額は当初の財政健全化計画とは大きく違い、財政規模は拡大している状況です。

一方、本市におけるこれまでの

◆歳入面で見るとこれまでの5年とこれからの10年（イメージ） 別表1



5年とこれからの10年を歳入面で見ると（別表1参照）、平成22年10月1日に実施された国勢調査の結果（速報値）で人口が9万人を下回ったこと、また、将来的にも人口の減少が予想されることなどから、今後普通交付税が減少していきます。

さらに、普通交付税については、平成28年度から合併算定替による効果が段階的に減少し、同32年度で終了します（一本算定への移行）。これらの影響は、地方税や地方交付税の減少など直接的に市の財政に影響をおよぼすことになり、さらなる財政の硬直化が懸念されています。

● 今後さらなる行財政改革が必要
今後、小・中学校の耐震化や学校統合による学校建設など、多額の費用を要する事業への対応が必要となる中で、第1次天草市総合計画に掲げる施策を実現するためには、自主財源が極端に少ない本市においては、さらなる行財政改革による効果的かつ効率的な行財政運営が必要です。

【用語の解説】

- ※1・市民と行政の協働指針：市民との協働を進めるにあたっての基本理念を定めるとともに、協働を広めるための方策や、協働の実効性を高めるための取り組みなど、市の基本的な考え方をまとめたもの。
- ※2・財政健全化計画：経費の節減や合理化など、財政健全化に向けた取り組みをまとめたもの。歳入の確保と歳出規模の適正化を図
- ※3・定員適正化計画：市の職員数を適正に管理するために策定したもの。
- ※4・合併特例支援：合併後のまちづくりのために、国や県の補助金・交付金、普通・特別交付税措置、交付税措置の多い特別な地方債など、合併団体に対する特別な支援。
- ※5・財政調整基金：予期しない収入減少や不時の支出増加などに備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うため、財源に余裕のある年度に積み立てておくもの。
- ※6・合併算定替：合併後も、合併がなかったものと仮定し、合併前の旧市町ごとに算定した普通交付税の合算額を保障し、合併による普通交付税の不利益を被ることがないようにされた配慮。

◆第2次行財政改革による中長期財政見通し

《歳入》 単位：百万円

	H21 決算	H22 最終予算	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
市税	7,641	7,544	7,456	7,260	7,211	7,164	6,961	6,925	6,883	6,695	6,652	6,616	6,434
地方交付税	25,081	26,301	23,702	23,898	23,951	24,111	24,262	23,202	22,633	21,863	20,927	19,883	18,405
国県支出金	13,830	9,541	8,609	8,873	8,803	8,753	9,046	8,179	8,097	7,854	7,815	7,811	7,803
市債	7,763	6,332	4,843	6,160	6,050	6,355	6,755	3,659	2,809	3,519	3,043	3,225	3,866
その他	5,800	6,699	4,714	6,116	4,785	5,466	6,487	4,230	4,199	4,157	4,132	4,169	4,179
歳入計	60,116	56,417	49,325	52,307	50,800	51,849	53,510	46,195	44,621	44,088	42,569	41,703	40,686

《歳出》

	H21 決算	H22 最終予算	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
人件費	9,899	10,200	9,717	9,671	8,956	9,580	8,677	8,562	8,071	8,578	7,543	7,375	6,872
扶助費	7,732	8,729	9,198	9,106	9,015	8,925	8,836	8,571	8,485	8,400	8,316	8,233	8,150
公債費	7,821	8,008	7,052	7,203	7,216	7,245	7,229	7,423	7,661	7,465	7,282	6,883	6,663
物件費	4,172	4,988	4,753	4,604	4,507	4,308	4,246	4,034	3,913	3,717	3,680	3,643	3,606
補助費等	7,964	7,662	7,601	7,461	7,391	7,103	7,088	6,947	6,808	6,503	6,373	6,246	6,121
繰出金	5,788	5,370	5,376	5,618	5,579	5,303	5,282	5,176	5,124	4,868	4,819	4,771	4,723
投資的経費	12,870	7,381	4,248	7,457	6,971	8,240	11,337	4,670	3,749	3,749	3,749	3,749	3,749
一般分	—	—	3,749	3,637	3,528	3,422	3,319	3,593	3,749	3,749	3,749	3,749	3,749
特別分	—	—	498	3,820	3,443	4,819	8,017	1,077	0	0	0	0	0
その他	1,887	4,079	1,380	1,188	1,166	1,144	816	814	811	808	806	803	801
歳出計	58,133	56,417	49,325	52,307	50,800	51,849	53,510	46,195	44,621	44,088	42,569	41,703	40,686
投資的経費 特別分除き	58,133	56,417	48,826	48,487	47,357	47,030	45,493	45,118	44,621	44,088	42,569	41,703	40,686

財政調整基金残高	9,001	11,539	10,907	8,907	8,407	6,907	4,407	4,107	3,807	3,507	3,207	2,907	2,607
市債残高	61,391	60,872	59,573	58,869	58,500	58,571	58,872	55,857	51,737	48,619	45,015	41,899	39,534

この中長期財政見通しは、行財政改革に取り組み、市町合併による特例措置がなくなる10年後の平成33年以降を見据えて設定しています。

(注) 投資的経費・一般分：道路や河川の整備など毎年度予算化が見込まれる経費。

投資的経費・特別分：小中学校の耐震化や学校統廃合による小中学校の建設など一時的に歳出の増加が見込まれる経費。

※各年度の数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、その内訳は合計額と一致しない場合があります。

※「第2次天草市行財政改革大綱」の詳しい内容については、本庁・行財政改革推進課に問い合わせください。また、市のホームページでもご覧いただけます。

「第2次天草市行財政改革大綱」の詳しい内容については、本庁・行財政改革推進課や牛深支所・総務振興課、その他の支所・総務市民課、各出張所に備え付けています。また、市のホームページでもご覧いただけます。

●**推進体制**
行財政改革の推進にあたっては、市長を本部長とする行財政改革推進本部を中心に全庁的に推進するとともに、「行財政改革推進課」を設置し、事務内容の見直しなどを行いつつ、徹底した行財政改革の推進を図っていきます。

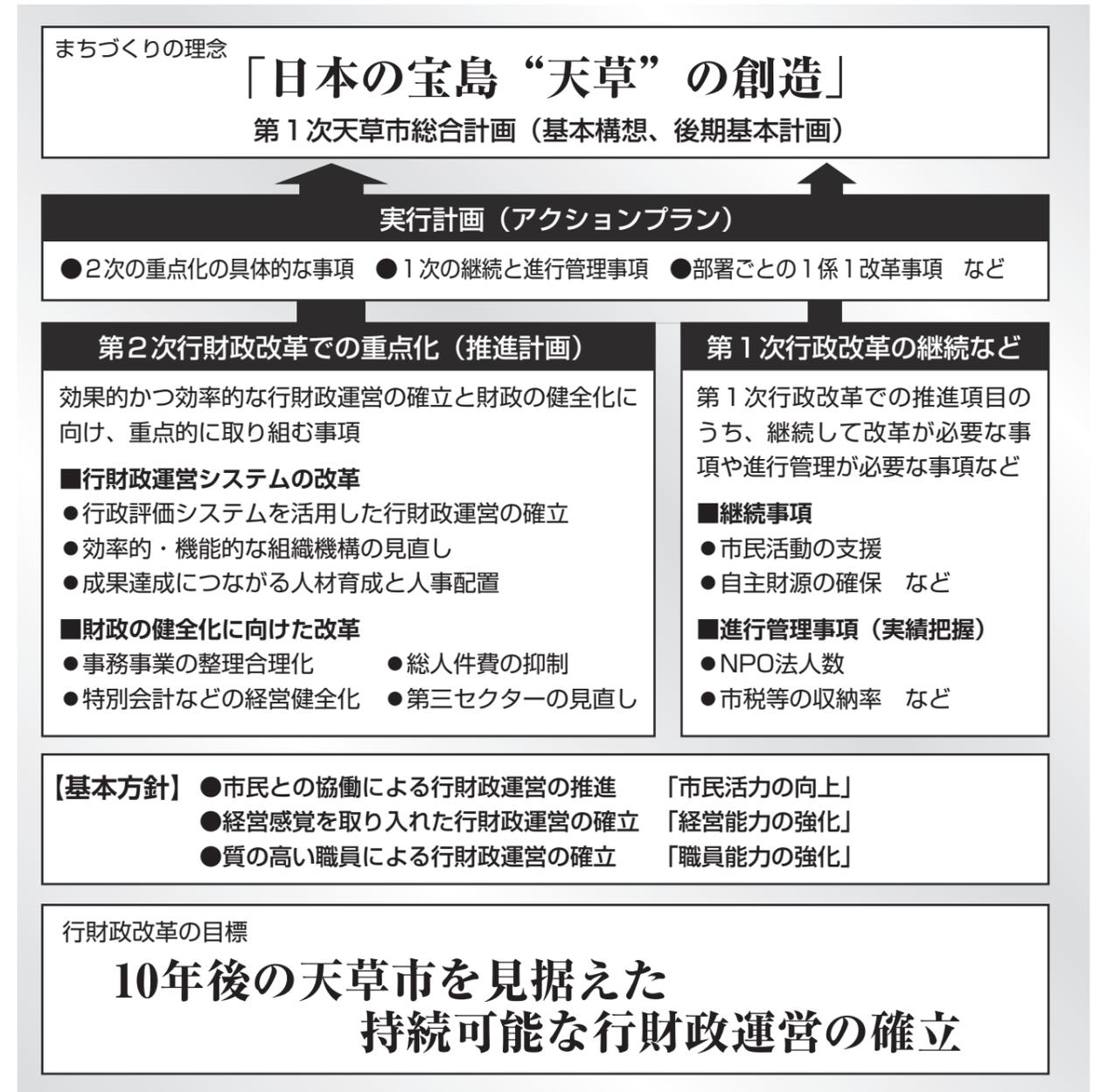
地方分権時代に的確に対応していくためには、住民に最も身近な基本的自治体としての自律と、それに伴う市民と行政の役割を明確にし、市民との協働による行財政運営を進める必要があります。また、第1次行財政改革の反省を踏まえつつ、今後の行財政運営に求められるさらなる課題に適切に対応していかなければなりません。そのため、第2次行財政改革では、第1次天草市総合計画（平成19年度から同26年度まで）に掲げ

第2次行財政改革の推進



▲安田市長に答申書を渡す中川会長

◆第2次行財政改革概略図（推進期間：平成23年度～同26年度）



平成23年度一般会計予算 など57議案を議決

平成23年第1回市議会定例会が2月28日から19日間の日程で開かれ、天草市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例の制定や、歳入歳出の予算総額を493億2,489万6千円とする平成23年度天草市一般会計予算など56議案がいずれも原案のとおり可決されました。また、人権擁護委員の候補者の推薦について同意され、3月18日に閉会しました。

可決された議案

- ▶天草市議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について——雇用保険法等の一部を改正する法律の施行により、船員保険制度の災害補償に関する部分が労働者災害補償保険制度に統合されたことに伴うもの。
- ▶天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について——非常勤職員の職名を変更するもの。
- ▶天草市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について——地方自治法の一部改正に伴うもの。
- ▶天草市まちづくり審議会条例及び天草市災害時要援護者避難対策会議条例の一部を改正する条例の制定について——支所の組織機構の変更に伴うもの。
- ▶天草市住民生活に光をそそぐ交付金基金条例の制定について——国の住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、市の消費者行政などに係る事業を実施するため基金を設置するもの。
- ▶天草市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について——老人保健医療特別会計を廃止するもの。
- ▶天草市男女共同参画センター条例の制定について——男女共同参画社会の形成を促進するため、天草市男女共同参画センターを設置するもの。
- ▶天草市行政改革審議会条例の一部を改正する条例の制定について——審議会の名称や庶務を担当する課の名称などを変更するもの。
- ▶天草市農山漁村広場条例の一部を改正する条例の制定について——平床農村公園（本町）を市の農山漁村広場とするもの。
- ▶天草市下田温泉センター条例の一部を改正する条例の制定について——下田温泉センター

- の使用料に関する規定などをあらためるもの。
- ▶天草市教育振興基本計画策定審議会条例の制定について——市の教育振興基本計画を定めるため、審議会を設置するもの。
- ▶天草市立小・中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について——平成24年4月1日から、亀場小学校と栢宇土小学校、宮地岳小学校の統合、御領小学校と鬼池小学校の統合、御所浦中学校と御所浦北中学校の統合、五和東中学校と五和西中学校の統合を行うもの。
- ▶天草市就学指導委員会条例及び天草市奨学生選考委員会条例の一部を改正する条例の制定について——教育委員会事務局の課の名称の変更に伴うもの。
- ▶天草市牛深総合センター条例の一部を改正する条例の制定について——牛深総合センターの休館日を変更するもの。
- ▶あらたに生じた土地の確認について
- ▶字の区域の変更について——以上2件は、公有水面埋立て（牛深町字米測）に伴うもの。
- ▶あらたに生じた土地の確認について
- ▶字の区域の変更について——以上2件は、公有水面埋立て（深海町字中の迫）に伴うもの。
- ▶あらたに生じた土地の確認について
- ▶字の区域の変更について——以上2件は、公有水面埋立て（河浦町久留字小浦、字瀬戸）に伴うもの。
- ▶あらたに生じた土地の確認について
- ▶字の区域の変更について——以上2件は、公有水面埋立て（河浦町久留字瀬戸）に伴うもの。
- ▶指定管理者の指定について——倉岳椎茸生産施設の指定管理者を指定するもの。
- ▶財産の取得について——小学校における教師用指導書や指導用教材を購入するもの。
- ▶市道路線の廃止及び認定について——廃止する路線2本、認定する路線3本。

- ▶平成22年度天草市一般会計補正予算（第5号）——各事業費の確定などに伴い、歳入歳出の予算総額にそれぞれ25億7,193万6千円を増額し、564億1,727万2千円とするもの。
- ▶平成22年度天草市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ▶平成22年度天草市老人保健医療特別会計補正予算（第3号）
- ▶平成22年度天草市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ▶平成22年度天草市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ▶平成22年度天草市浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算（第3号）
- ▶平成22年度天草市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ▶平成22年度天草市国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第2号）
- ▶平成22年度天草市歯科診療所特別会計補正予算（第2号）
- ▶平成22年度天草市病院事業会計補正予算（第3号）
- ▶平成22年度天草市水道事業会計補正予算（第2号）
- ▶平成23年度天草市一般会計予算——歳入歳出の予算総額をそれぞれ493億2,489万6千円と定めるもの（平成23年度当初予算の詳細については、8～9ページを参照してください）。
- ▶平成23年度天草市国民健康保険特別会計予算
- ▶平成23年度天草市介護保険特別会計予算
- ▶平成23年度天草市後期高齢者医療特別会計予算
- ▶平成23年度天草市公共下水道事業特別会計予算
- ▶平成23年度天草市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
- ▶平成23年度天草市農業集落排水事業特別会計予算
- ▶平成23年度天草市漁業集落排水事業特別会計予算
- ▶平成23年度天草市浄化槽市町村整備推進事業

- 特別会計予算
- ▶平成23年度天草市簡易水道事業特別会計予算
- ▶平成23年度天草市国民健康保険診療施設特別会計予算
- ▶平成23年度天草市歯科診療所特別会計予算
- ▶平成23年度天草市埠頭事業特別会計予算
- ▶平成23年度天草市斎場事業特別会計予算
- ▶平成23年度天草市一町田財産区特別会計予算
- ▶平成23年度天草市新合財産区特別会計予算
- ▶平成23年度天草市富津財産区特別会計予算
- ▶平成23年度天草市病院事業会計予算
- ▶平成23年度天草市水道事業会計予算

—— 議員提出 ——

- ▶天草市議会議員に対する議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について——市議会議員の費用弁償の額を定めるもの。

同意された議案

- ▶人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて——委員に石原照堂氏（栖本町湯船原1054番地）を推薦することに同意。

採択された請願

- ▶都市計画道路太田町水の平線整備促進に関する請願書

趣旨採択された請願

- ▶水俣病被害者救済のために指定地域拡充等を求める請願書

不採択となった請願

- ▶公共事業における需給アンバランスの早期是正を求める請願
- ▶税と社会保障の一体改革にあたって意見書提出を求める請願書

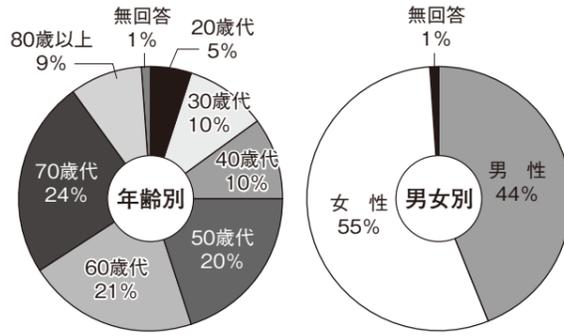
※市議会定例会に関する詳しいことは、本庁・総務課総務法制係 ☎ 1111 内線1212へお尋ねください。

市政に関するアンケート

結果を報告します

調査の概要

- 調査対象 市内に居住する20歳以上の人を、住民基本台帳から無作為に抽出
- 抽出数 2,000人
- 回答者数 894人
- 回収率 44.7%



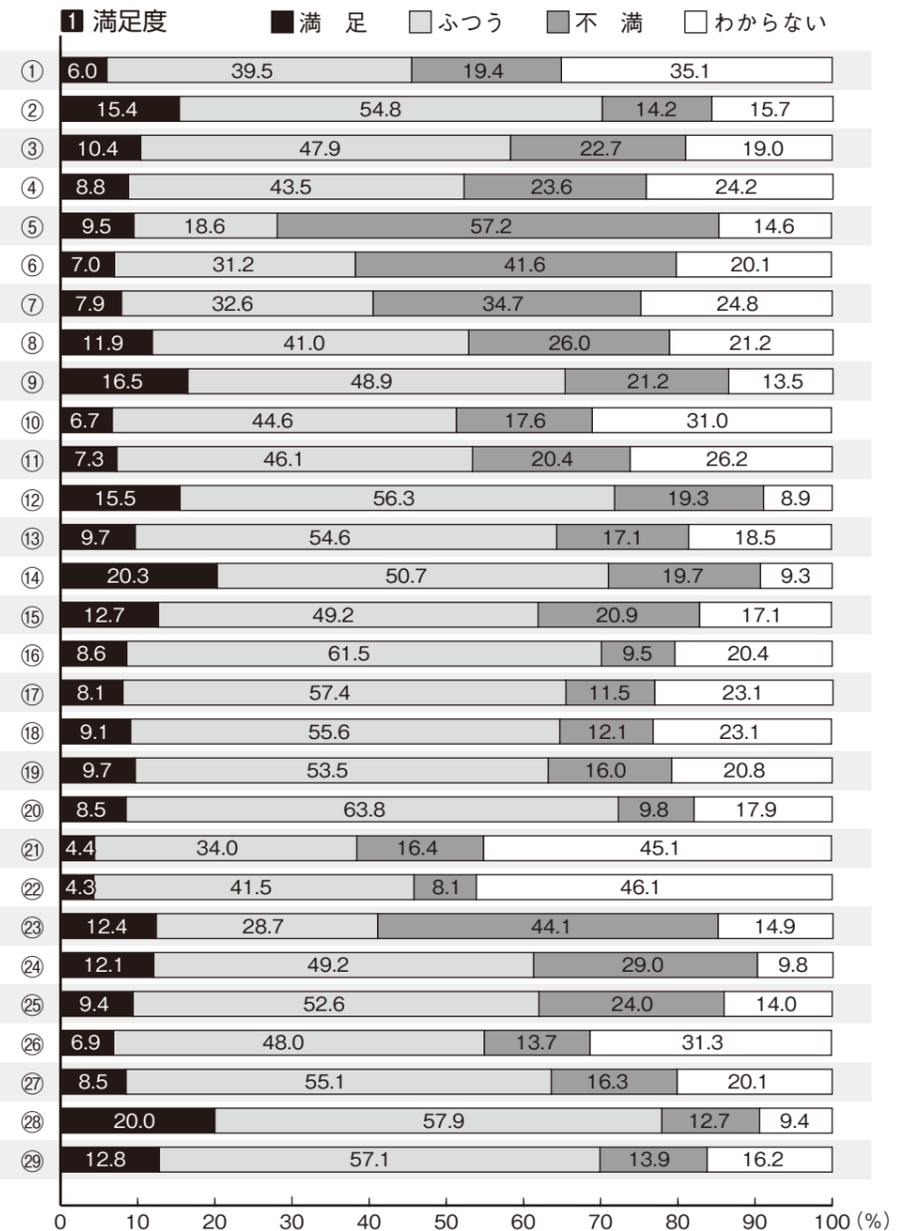
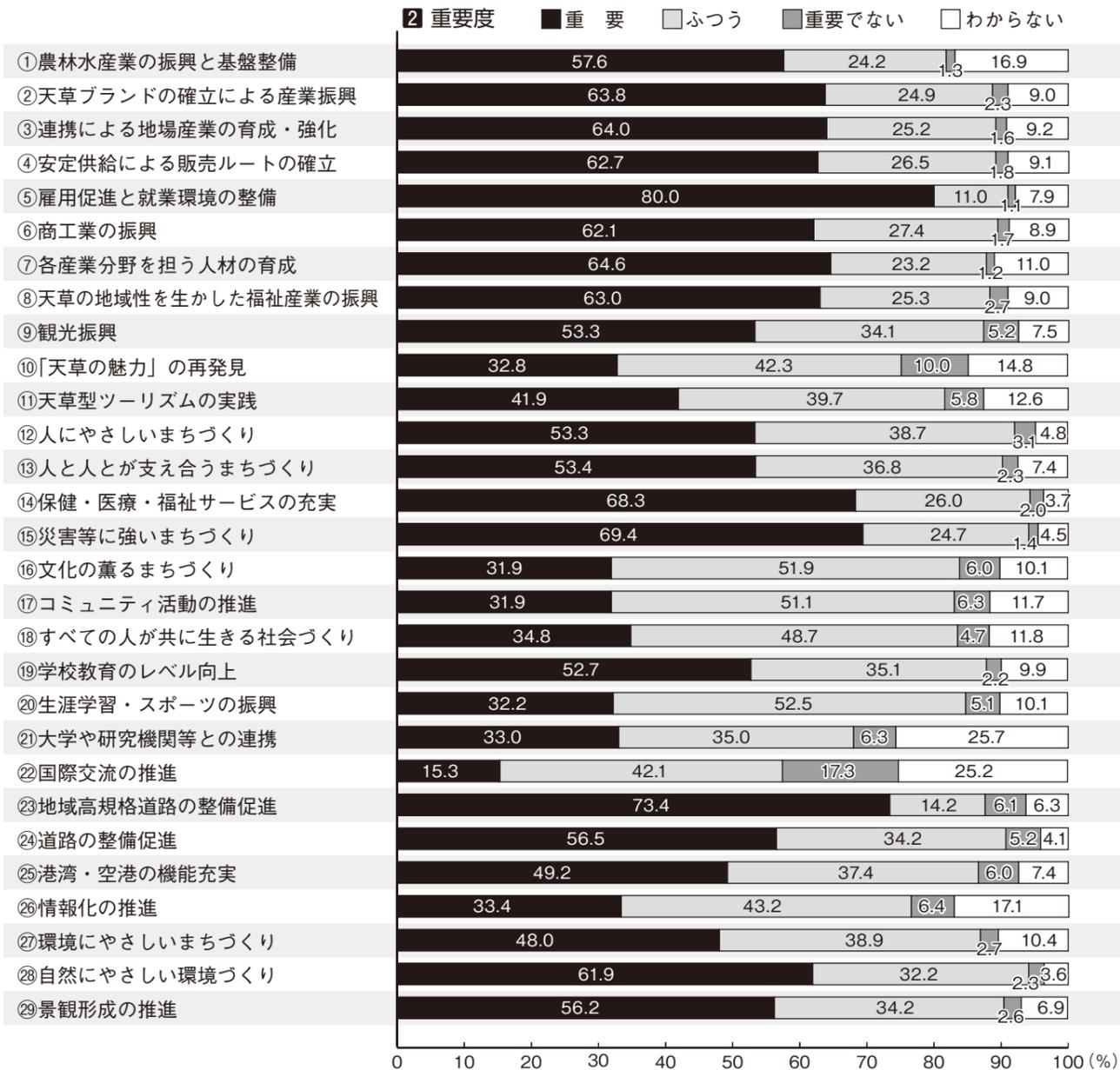
市政の満足度・重要度

1 満足度
 総合計画に掲げる市の政策29項目に対する満足度について調査しました。満足度の高い項目としては、「14保健・医療・福祉サービスの充実」が20.3%、「28自然にやさしい環境づくり」が20.0%、「9観光振興」が16.5%などが挙げられています。

一方、不満度の高い項目としては、「5雇用促進と就業環境の整備」が57.2%、「23地域高規格道路の整備促進」が44.1%、「6商工業の振興」が41.6%などとなっています。

2 重要度

満足度と同様の29項目について、重要度をお尋ねしました。重要という回答が多かったのは、「5雇用促進と就業環境の整備」が80.0%、「23地域高規格道路の整備促進」が73.4%、「15災害等に強いまちづくり」が69.4%、「14保健・医療・福祉サービスの充実」が68.3%、「7各産業分野を担う人材の育成」が64.6%の順となっています。



市では、市民の皆さんの市政に対する満足度や、施策に関する意識などについて把握するため、今年1月、「市政に関するアンケート」を実施しました。今回は、その結果の一部を報告します。

なお、すべての結果については、本庁・企画課や牛深支所・総務振興課、その他の支所・総務市民課のほか、市のホームページでもご覧いただけます。

ひとりで悩まず、ぜひご相談ください

『子ども総合相談室』を開設しました

「子どもの発達が気になる」「子どもへのかかわり方がわからない」「子どもの泣き声がよく聞こえる」など、心配ごとや不安はありませんか。また、このような悩みを誰に、どこに相談したらいいかなど、お困りではありませんか。

市では、子どもたちが健やかに成長し、家庭や地域で楽しく子育てができるように、本庁・子育て支援課内に『子ども総合相談室』を開設しました。

保健師や心理士等が相談に応じ、子育てなどのお手伝いをします。なお、相談時間や方法などは次のとおりです。

秘密は固く守られます。ひとりで悩まず、安心してお気軽にご相談ください。



- 対象者：子ども本人・保護者・家族・地域住民など、どなたでも可。
- 時間：月～金曜日の午前8時30分から午後5時15分まで（ただし、祝日・年末年始を除く）。
- 相談方法：①来所相談…本庁・1階子ども総合相談室（子育て支援課内）

②電話相談

（気軽に）もしもし
相談専用電話 ☎220404

- 相談内容：
 - ・子どもの性格や発達（落ち着きがない・わがまま・しつけのしかたなど）
 - ・学校や保育所など、集団生活での悩み（不登校・友人関係など）
 - ・家族関係の悩み（虐待・DVなど）
 - ・養育に関する相談（保護者の病気・離婚・家出など）
 - ・非行相談（万引き・家出・夜遊びなど）
 - ・障がいがある子どもの養育に関する相談

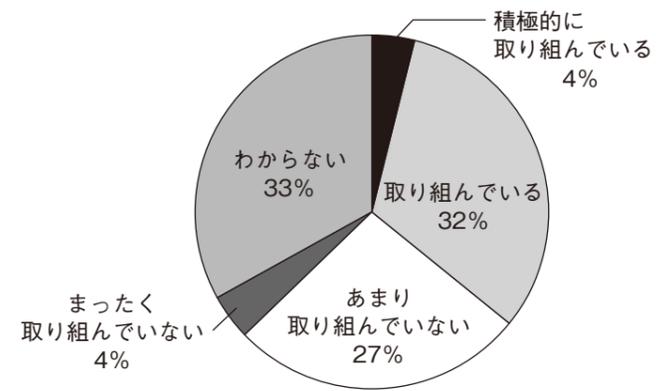


★このほか、下記の機関でも子どもや子育てなどの相談ができます★

機関名	電話番号	主な相談内容
家庭児童相談室（牛深支所内）	☎2111	子ども総合相談室の内容と同じ
天草中央保健福祉センター（亀場町）	☎0620	母子保健事業（乳幼児健診・予防接種など）
天草東保健福祉センター（栖本町）	☎3355	子どもの発育・発達
天草西保健福祉センター（河浦町）	☎3301	子育て
本庁・社会福祉課障がい福祉係	☎1111	子どもの発達・障がい福祉サービス
ほっとすぺーす （本庁・〔別館〕学校教育課内）	☎2773	教育相談（学校、幼稚園に関すること） 就学・進学について、子育て 友だち関係、いじめ、不登校関係

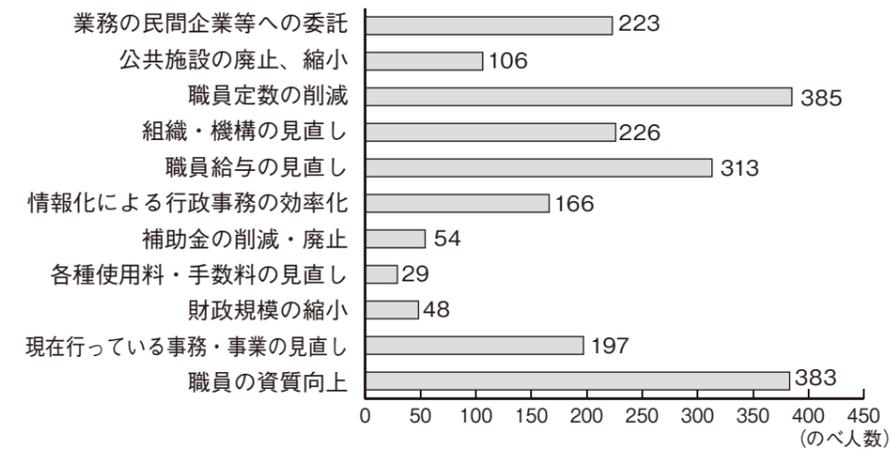
「子ども総合相談室」に関する詳しいことは、
本庁・子育て支援課子ども相談係 ☎2111内線1407/1408へお尋ねください。

市政に関するアンケート 結果報告



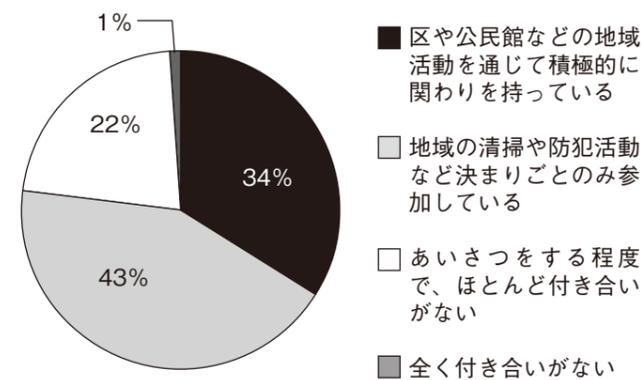
1 行政改革への取り組みについて「積極的に取り組んでいる」「取り組んでいる」と回答した人の割合は36%、「あまり取り組んでいない」「まったく取り組んでいない」との回答が31%ですが、「わからない」と回答した人が全体の3分の1を占めており、行政改革への取組状況の周知が必要です。

行政改革について



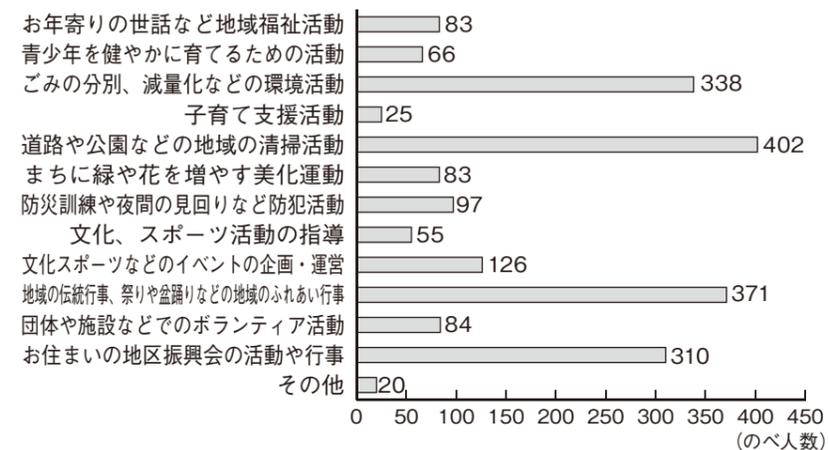
2 行政改革の重点事項（3項目まで回答可）
行政改革の取組みとして重点を置くべき項目では、「職員定数の削減」が最も多く、次いで「職員の資質向上」「職員給与の見直し」「組織・機構の見直し」となっています。

地域活動への参加



1 近隣との関わり「積極的に関わりを持っている」と回答した人が34%、「決まりごとのみ参加している」と回答した人が43%であり、約8割の回答者が地域活動に関わりを持っていません。

参加経験のある地域活動（複数回答可）



2 参加経験のある地域活動（複数回答可）
各種の地域活動のうち、地域の清掃活動やふれあい行事、環境活動、地区振興会活動に参加した割合が高くなっています。

※「市政に関するアンケート」についての詳しいことは、本庁・企画課企画調整係 ☎1111内線1316へお尋ねください。



九州新幹線全線開業記念インタビュー

「笑顔」で起こす サプライズ

県では、3月12日の九州新幹線の全線開業をきっかけにして、「くまもとサプライズ」運動に取り組んでいます。この運動は、県民がみずからの周辺にある驚くべき価値のあるものを再発見し、それをより多くの人に広めていこうというもので、この運動を通してさまざまなサプライズを掘り起こすことで、『県民自身の日常がより豊かなものになる』ことを最大の目的としています。

今号では、県の宣伝部長を務めるタレントのスザンヌさん、本市出身で「くまもとサプライズ」の提案者である小山薫堂さんに、熊本が持つ魅力についてお聞きしました。

※この特集は、熊本県広報協会から提供された原稿をもとに編集しています。

熊本市（旧植木町）生まれ。「クイズヘキサゴンII」、「サンデーネクスト」などに出演し、同じ九州福岡でも「豆ごはん」にレギュラー出演。2008年11月「熊本県宣伝部長」に就任した。



スザンヌさん

おもてなしに必要なのは「知る」こと。そして「笑顔」

らすると、「熊本にはそんなことがあるんだ」と思われることが多い。例えば、太平燕はあんなにおいしいのに熊本にしかない。桜納豆を知り合いが食べて「馬肉と納豆？」と驚いていたけど、「スタミナがつくね」とごはんをおかわりして食べていました。国産量もほとんどが熊本で作られていることを知らない人が多いし、みかんだって、1種類しかないと思っている人がたくさん。でも、熊本には、デコポンや晩白柚だって格

わったことで肌がすごく荒れたんです。「水にお金を出すの？」と不思議な感覚でしたが、外に出てあらためて熊本の水はきれいなんだって思いました。

熊本は自然が豊か

で、山も川もあって、少し行けば海もあります。気軽に温泉にも行くことができます。とてもいいですよ。

熊本の人にとって当たり前だと
熊本思っていたことが、他県の人か

熊本は自然が豊か
で、山も川もあって、少し行けば海もありま

熊本県宣伝部長のスザンヌさんに、「熊本大好き」と公言する極意を語ってもらいました
熊本にはたくさん良いところがある熊本思っています。その中でも、やっぱり「水」がおいしいかの熊本の魅力ですね。「水」がおいしいから、野菜もみずみずしいものができる。水道からミネラルウォーターが出るなんて言いますけど、東京では考えられません。向こうでは、水道水をそのまま飲むなんてできない。熊本を離れて、水が変

熊本の魅力は、やっぱりおいしい「水」

段に、熊本のことを知ることができたり、詳しくなりました。この「知る」ことがいちばん大事なのかなと思います。まずはそこに行って、自分の目で確かめる。そして、自分で驚いたことや感じたことを人に話して「行ってみたい」と思わせたいですね。

九州新幹線が開通して、県外の人がたくさん熊本に来ると思いますが、笑

「くまもとサプライズ」の提案者・小山薫堂さんに「熊本の未来」には何が必要なのかを聞きました

くまもとサプライズは、新幹線の開業で熊本に来た人々を驚かせる（サプライズ）企画ではなく、熊本の人に「日常をリセットしてもらおう」ための企画です。この企画で、自分の中で、当たり前だと感じているものでも、県外から見れば、すごく特別で驚くような価値を持ったものがあることを知ってもらおうのです。

僕は県外に出て、熊本の良いを実感しました。上京して体を洗ったり歯を磨いたりするときに水を使いますが、そのときに「やっぱり熊本の水はおいしいなあ」と感じるんです。熊本ではこのよう

当たり前が幸せだと感じてほしい

ぼくは、生まれ変わるならシャンパンを作る人になりたいんです。

ぼくは幸せを運ぶ天使になりたい

そして、地域の人たちの熱い思いが、熊本を変えます。しかし、全員が熱い思いを持つ必要はなく、それをみんなが応援していくことが大切なのです。熊本の人には、変えようとしている人を見守り、そして応援する人になってほしい。それが熊本の幸せであり、みんなの幸福につながると思っていますから。

おめでたいときに、シャンパンで乾杯するようなことってありますよね。そんな小さな幸せを演出する人になりたいんです。
例えば、天使みたいに陰に隠れながら、いろんな人生にちよつといたずらをして、人と人を巡り合わせたい。そして、幸せになった人たちをこっそり見るのがうれしいですね。くまもとサプライズでも、僕の役割は、皆さんの背中をちよつと押してあげるだけだと思います。それをきっかけに、熊本の魅力に気付いた人が動いてほしいです。

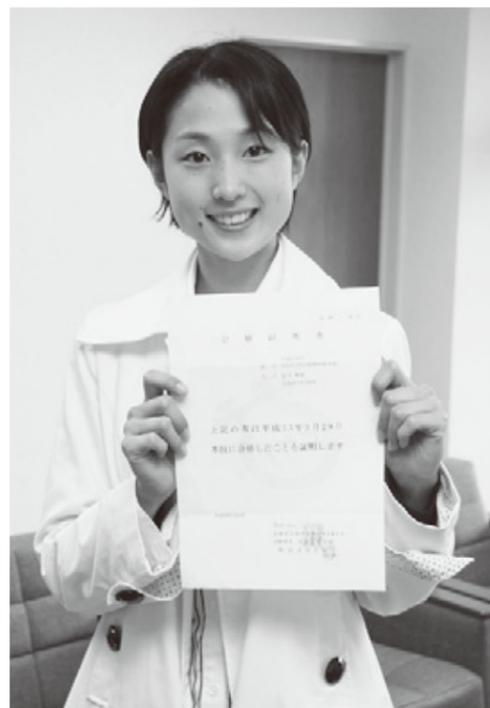


くまもとサプライズキャラクター くまモン

小山薫堂さん

天草市（旧本渡市）生まれ。放送作家として「料理の鉄人」や「THE 世界遺産」などを手掛ける。その一方で、映画脚本家としても、初脚本の「おくりびと」が米アカデミー賞外国語映画賞を獲得するなど、高い評価を受けている。

わだいの



▲合格証明書を手に笑顔を見せる田中さん

田中舞夏さんが宝塚音楽学校に合格 本渡

宝塚歌劇団トップスターへの第一歩！

浄南町に住む田中舞夏さんが3月29日、宝塚歌劇団生徒の養成機関である“宝塚音楽学校”（兵庫県宝塚市）に合格しました。田中さんは、平成19年2月に天草市民センターで開かれた、宝塚歌劇団OG（卒業生）による舞台を観劇したのをきっかけに、タカラジェンヌへの挑戦を決意。その後、学業のかたわら週に4日、熊本市内にあるダンススクールに通うなどしてレッスンを重ね、今回、定員40人に対して受験者940人という狭き門を見事突破し、県内で唯一の合格者となりました。

田中さんは、「念願がかなってとてもうれしい。支えてくれた家族にはとても感謝しています。トップスターになって、自分が育った大好きな天草に恩返しをしたいです」と笑顔で話していました。

KABふるさとCM大賞の金賞を受賞 牛深

「魚貫町の夕日」をテーマにしてCMを制作

3月8日、魚貫小学校6年生の児童8人が制作したCM作品が、熊本朝日放送（KAB）主催の「第8回ふるさとCM大賞」学校の部で、最高の金賞を受賞しました。これは、同校の総合的な学習の一環として取り組んだもの。ふるさと再発見をテーマに、“顔も心もぽっかぽか 夕日の町 魚貫町”と題して、天草西海岸に面した同町から望む夕日のすばらしさを紹介した作品です。児童たちは、教職員からの指導を受けながら、企画・構成・撮影を行ったほか出演までこなし、高い評価を得ました。

なお、このCMは同放送局で放送（不定期）されます。



▲表彰状を手に喜びの児童たち



▲作品の一部。児童たちが浜辺で夕日をながめるようす

5・6年生から昼食のプレゼント 河浦

感謝の思いを込めて料理づくり

3月23日、宮野河内小学校の5・6年生15人が、宮野河内公民館で同校の児童と教職員に手づくりの昼食をふるまいました。これは、卒業式を前にして、先生や下級生に感謝を込めたおもてなしをしようといわれたもの。献立は、おにぎりやみそ汁、野菜サラダなど4品で、児童たちは約40人分の料理を協力しながら手ぎわよく作っていました。その後、できた料理を全員でおいしく食べ、参加した6年生の児童は「小学生最後に良い思い出ができた」と話していました。



▲熱心に野菜などを切る児童たち



▲山頂を目指してスタートする参加者

倉岳ウォークラリー 倉岳

雄大な眺めに心も体もリフレッシュ

棚底城跡や防風石垣群などを巡りながら、天草の最高峰“倉岳”（682m）の山頂をみざす「倉岳ウォークラリー」が4月3日、倉岳小学校をスタート・ゴールとする17kmのコースで開かれ、市内外から280人が参加しました。この日は肌寒い中、参加者は思いおみのペースでウォーキングを満喫。山頂付近ではおにぎりや豚汁がふるまわれたほか、地元の特産品などが当たる抽選会も行われ、参加者は頂上からの眺めを堪能しながら、楽しいひとときを過ごしていました。



▲思い出を乗せた風船を飛ばす参加者

楠浦保育所閉所式 有明

はぐくみ続けた46年の歴史に幕

3月26日、市立楠浦保育所の閉所式が同所であり、園児や保護者、卒園生など約50人が参加しました。同保育所は、昭和40年に有明町立大楠保育園として開設。その後、現在の名称に変更され、これまでに602人の園児たちが園舎を巣立っています。式典では、この日卒園式を終えたばかりの園児5人による踊りのほか、園児全員で合唱を披露。また、桜の木の植樹や風船飛ばしなども行われ、参加者は46年という歴史の深さを感じながら、思いのおもひのひとときを過ごしていました。

御領花の会による花の鉢植え 五和

きれいなお花でお出迎え！

3月27日、御領花の会が五和支所前にある、江戸時代の長岡興就公の銅像の周囲で、花の鉢植え作業を行いました。これは同会が、御領まちづくり振興会が実施しているまち歩きツアーの出発地点である同所を、たくさんの花で彩り、お出迎えをしようとして初めて実施したものです。この日は会員4人が参加し、地元石材店の協力を得て作られた“御領石”製の植木鉢に、色とりどりの花を植栽。会員たちは、終始和気あいあいの中で作業を進めていました。



▲きれいな花が植えられた長岡公銅像の前で御領花の会の皆さん

市と芥明高校がオリーブの共同研究に関する協定を締結

オリーブの6次産業化の実現に向けて

市と芥明高校は3月23日、オリーブの共同研究に関する協定を締結しました。この協定は、オリーブの栽培・加工・販売を一貫して行う“6次産業化”の実現を旨として、栽培方法や加工品の開発などについて共同研究を行うもの。同校で実施した調印式では、安田市長と松尾哲也校長が協定書に調印。安田市長は「オリーブの島づくりに向けて、この共同研究の成果を期待している」と話し、松尾校長は「学校が一丸となって協力していきたい」と述べられました。



▲協定書を手にする安田市長と松尾校長

健康づくりハイキング

栖本

なかよく楽しく健康づくり

3月13日、市社会福祉協議会・栖本支所主催による、「健康づくりハイキング」が行われました。これは同支所が、高齢者の健康づくりと親睦を深めることを目的に毎年開催しているもので、栖本町内に住む高齢者など105人が参加しました。コースは、栖本福祉会館と栖本城跡を往復する約4.6km。この日は、ぽかぽかとした陽気が心地良い絶好のひよりで、参加者は笑顔で語らいながら、マイペースでハイキングを楽しんでいました。



▲笑顔でハイキングを楽しむ参加者



▲完成を祝して記念のテープカット

市本渡水産物荷さばき施設落成式

漁業者の経営力向上を目指して

4月6日、「天草市本渡水産物荷さばき施設落成式」が本渡港にある同施設で開かれ、関係者など50人が参加しました。これは、昭和39年に整備された本渡卸売市場の老朽化に伴い、消費者の安心・安全なニーズへの対応と、漁業者の経営力の向上を目的に市が建設。施設の管理は指定管理者制度により、天草漁協が行います。式典では、安田市長が「天草の水産物の起爆剤となってほしい」とあいさつ。その後、落成を記念してテープカットを行いました。



▲幼虫を探す子どもたち

カブトムシの養殖事業

新和

大きく育て“カブトムシ”!!

いかりいし
礎石地区振興会では、子どもたちに自然体験の場を提供することを目的に、旧中石小学校でカブトムシの養殖事業を始めました。3月26日には、地域の子どもなど16人が、地区内にある炭窯小屋横の資材置き場からカブトムシの幼虫を探し出し、同校に設置した養殖用のビニールハウスへの引っ越しを実施。移した約500匹の幼虫の中には、10cmを超える“大物”もいました。なお、夏ごろに成虫となる見込みで、地区内外の子どもたちに提供する予定です。

天草戦没者追悼式

戦没者を慰霊し、世界の恒久平和を願う

4月2日、戦争で尊い命をなくされた天草島内の戦没者の霊を慰めるために、上天草市・天草郡荅北町・天草市の2市1町合同による「第6回天草戦没者追悼式」が、天草市民センターでしめやかに行われました。

追悼式には、戦没者の遺族など約500人が参列。戦没者之霊位に献花を行い、亡くなられた人たちのめい福をお祈りするとともに、二度と悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、世界の恒久平和を祈念しました。



▲献花を行う参列者

高浜八幡宮春季例大祭

天草

伝統の太鼓踊りが復活

4月3日、高浜八幡宮春季例大祭が開催されました。この例大祭は、同宮の氏子が分担して太鼓踊りや獅子舞などを受け継ぎ実施しているもの。太鼓踊りを担当する中向地区では、3年前から踊りを担う小・中学生がいなくなり、代わりにおとなが踊りを担当していました。しかし、今年は小学生2人が加わり、久しぶりに子どもによる太鼓踊りが復活。沿道には多くの住民が駆けつけ、元気に踊る子どもたちの姿を、うれしそうに見守っていました。



▲勇壮な太鼓踊りを披露



▲完成した南消防署

天草広域連合・南消防署が開署

牛深地域に新たな消防拠点完成

牛深地域を管轄とする天草広域連合・南消防署が、久玉町の牛深高校前に新築され、3月16日に開署しました。これは、昭和40年に建設された旧南消防署（牛深町）の老朽化に伴うもので、管轄区域への出動の効率性を考慮して、今回の場所に整備されました。同28日には、関係者など70人が出席して落成式を同所で行った。同連合長の安田市長が「消防力のよりいっそうの充実・強化を図りきめこまやかな消防行政に努めたい」などと話されました。



▲元気に相撲をとる園児たち

金比羅祭り

御所浦

航行の安全と子どもの成長を願って

4月12日、「金比羅祭り」が御所浦町の嵐口地区で開かれました。この祭りは、同地区に古くから伝わるもので、毎年旧暦の3月10日に行っているもの。この日は晴天に恵まれ、地元の漁師や保育園児など約100人が参加。祭りでは、1年間の航行の安全を祈願した後、子どもの健やかな成長を願って、赤ちゃんの土俵入りなどを実施。また、保育園児による奉納相撲も行われ、子どもたちの元気な取組に、観客から大きな歓声や拍手が送られていました。

「前進」を目ざして

本渡中学校（本渡町）

3年 松本圭太

ぼくたちの本渡中学校は、去年の4月に開校したばかりの新設校です。開校2年目の今年は、「前進」を目標に生活していきたいと思っています。生徒会では、クラス参加型のあいさつ運動や無言掃除に取り組み、成果をあげています。さらに、本渡中学校の課題である交通マナーについても交通マナー向上計画を実施し、自分たちの力で問題を解決していきたいと思っています。そして、地域の人たちから信頼される学校にしていきたいです。

今の本渡中学校は、学校の基礎をつくっているととても勢いのある学校です。ぼくもそんな学校で生活できることを誇りに思い、これからもがんばっていきます。



あいさつ運動のようす

ぼくのわたしの学校部活自慢



目標を達成できるようにがんばります！

“優勝”に向けて一致団結

御所浦北小学校（御所浦町）

6年 松崎登平

ぼくたち、御所浦北小学校の部活動は、女子がバスケットボールで、男子は夏にソフトボール、冬はサッカーでがんばっています。少ない人数だけど、3年生から部活動に参加して、みんなでいっしょけんめい練習に取り組んでいます。

バスケットボール部では、キャプテンの岩崎萌々子さんと竹下都さんを中心に、小体連の優勝を目標にして、毎日練習しています。特にシュートの練習をがんばっています。

ソフト・サッカー部は、ソフトボールの天草本渡ライオンズクラブ大会での優勝が目標です。毎年ベスト8どまりなので、今年こそは優勝したいです。

地域づくり コーナー

人と人がふれあう、
おだやかで美しい島へつなぐ

牧島地区振興会（会長 井島安二）

人が動く
地域が動く
天草が動く

牧島は、御所浦町に浮かぶ3つの有人島のひとつで、人口400人足らずに住んでいます。保育所や小・中学校もすでにほかの島にある施設に統合になり、昼間は子どもの姿を見ることがなく、島の少子高齢化はさらに深刻化しています。しかし、牧島地区振興会では、地域住民の協力を得ながら、旧牧島小学校のグラウンド跡地を利用した「みんなの広場の整備」や、同校への通学路を利用した「遊歩道の整備」など、小規模ながらも和気あいあいの中で活動を展開しています。

今後も、これまで同様に地域住民の協力を得ながら、美化活動や行事に取り組んでいきたいと思っています。



▲遊歩道を整備するようす

一方、通信制の高校（勇志国際高校）が平成17年4月に開設されたことや、「伝馬舟の樽漕ぎ体験」を行うおだやかな入り江があることから、

宝島の健康

よさげえ

緒方ツギ子さん
（栖本町馬場・85歳）



◆毎日の楽しみは？

野菜作りをすることや、ゲートボールをすることです。ゲートボールは、毎週2回欠かさず参加しています。人と交わることが大好きなので、仲間たちとともに楽しく過ごしています。

◆健康の秘けつは？

とにかく、体を動かすことを心がけています。そして、仲間たちとおしゃべりをしながら、和気あいあいの中で過ごしていることが、大病もせず健康でいる秘けつだと思っています。



舛本侑生さん（河浦町河浦・20歳）

1年前から実家の建設業を手伝っていて、やりがいを持ってがんばっています。今は、同年代の仲間を増やして、何か地元を盛り上げていけるようなことができたらいなと思っています。趣味は車でのドライブ。仕事が休みのときは、よく遠くに出かけています。

心地よい ところで おいしい！

深海保育所（深海町）

深海保育所（中原美智子所長・全園児14人）は、「丈夫な身体、元気な子、我慢できる子」を目ざしています。園では、子どもたちのすこやかな成長のために、自然豊かな中で野菜などを栽培し、毎月1回、0歳児から5歳児まで年齢に応じたクッキングを行なっています。作った料理は、それぞれのクラスでごちそうしたりされたりして、双方に相手への心を伝えながら、おいしく楽しくいただいています。

また、食事のあいさつやマナーを知るなど、「食」を感じるさまざまな場面を保育に取り入れています。子どもたちには、おとなになっても「食」を大切にする気持ちを持ち続けてくれることを願っています。



みんなで楽しくクッキングをする子どもたち



チャレンジGOGO! すみれぐみの園児たち

えがおいっぱい きたようちえん

本渡北幼稚園（浜崎町）

本渡北幼稚園（松岡逸子園長・全園児73人）では、豊かな体験活動を通して気づきや発見、共感、感動する心などを養い、また、自分のみならず相手の気持ちを思いやる心の育成を、集団生活の中で導いていきたいと努めています。

毎日、広い園庭で友だちや教師とかわりあい、鬼ごっこやドッジボールなどおもいきり体を動かして遊びを楽しんでいます。また、隣接している本渡北小学校のお兄さんやお姉さんたちから、年間を通して絵本の読み聞かせをしてもらっています。園児たちも、毎回の交流を楽しみにしており、小学校生活への期待やあこがれへとつながっています。





被災地へエールを送った 「牛深ハイヤ祭り」と市をあげての支援

天草市長 安田 公寛

市長
随筆

「東日本大震災」で被災された皆さんへの配慮から、各地のイベントや式典が自粛される中でしたが、4月15日から17日までの3日間、「第40回牛深ハイヤ祭り」が実施されました。

今回の祭りの開催には賛否両論ございましたが、『牛深ハイヤ祭り』は、江戸時代、海運の中継基地として栄えた牛深で、風待ち、シケ待ちの船乗りたちをもてなす酒盛りの歌として歌い出されたのが始まりで、北前船によって日本中に広がり、全国に現存するハイヤ節系の民謡の源流となっていることから、「天草から南風に

乗せて 頑張れ東北！がんばろう日本！」のスローガンを掲げ、復興支援を含め被災地を励まそうということを実施されたものです。

今後、被災地住民の皆さんの避難生活の長期化が懸念されることから、本市でも義援金や救援物資支援はもとより、被災者の受け入れ、被災地支援のための技術職、保健師、一般職などの職員派遣にも取り組んでおります。

私は、この国難ともいえる難局から日本が脱却するには、何よりもまず国民の連携と連帯が必要であると考えています。

煌めく人々たち

天草産のオリーブオイルを使った料理を夢見て

宮崎 文子 さん（五和町鬼池・63歳）



五和町鬼池に住む宮崎文子さんは、鬼池港のフェリーターミナルの近くで、家族とともに民宿兼食堂、そして料理の仕出し業を営んでいる。宮崎さんはここで出される料理のすべてを取り仕切っており、経営を支える屋台骨だ。そんな宮崎さんは、同町で昨年11月に開かれた、オリーブオイルソムリエ・小暮剛氏による料理講習会への参加をきっかけに、オリーブオイルの魅力にすっかりはまっています。

「今後は、天草産のオリーブオイルを使ったオリジナルの料理を作りたい」と宮崎さん。現在、外国産のオリーブオイルを使用する中であって、市が推進しているオリーブ栽培には、大きな期待を寄せている。オリーブの島づくりの成功を信じて、今日も自慢の腕をふるう。

ハッピー BIRTHDAY パースデー

今日で1歳になりま〜す



佐藤 虹 ちゃん
栖本町馬場
父・薫さん
母・明子さん

雷兄、彪兄、雫姉いっぱい遊んでね。



池崎 祐貴 くん
五和町鬼池
父・正志さん
母・文子さん

じいちゃん、ばあちゃんいつもありがとう。これからもたくさん遊んでね！



三山 璃央 ちゃん
佐伊津町
父・剛さん
母・美美さん

大好きな、らい兄ちゃん。これからもたくさん遊ぼうね。



河内 駿磨 くん
有明町下津浦
父・淳さん
母・知子さん

あさひおねえちゃん大好き！いっぱい大きくなるよ。



石元 将仁 くん
北浜町
父・和豪さん
母・涼子さん

河浦と桶浦のじいじ、ばあばあ、いつもありがとう♡



岩崎 奏良 くん
五和町城河原
父・正道さん
母・正子さん

じいじ、ばあば、姉ちゃん大好き。これからもいっぱい遊んでね。



上元 心花 ちゃん
亀場町亀川
父・聖大さん
母・晴香さん

じいじ、ばあば大好き♡これからもいっぱい遊ぼうね☆



福田 礼織 くん
丸尾町
父・和春さん
母・真理さん

かいり兄ちゃん、仲良くさくら保育園に行こうね！



黒田 真央 ちゃん
浜崎町
父・賢三郎さん
母・美和さん

あい姉ちゃん、大好き♡ずっと仲良しでいようね。

6月で満1歳になるお子さんを募集します！
●応募期限=5月10日☑まで（必着）。
●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名（ふりがな）、生年月日、性別、電話番号、コメント（30字以内）、保護者名（父・母）を記入し、〒

863-8631（住所記載不要）天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで（応募者多数の場合は抽選）とし、応募写真は返却しません。

読者のつぶやき



「ぎゃんいたて、ぎゃん曲がって、また右さんぎゃん曲がって、まっすぐ行けば着く」。ある会話を聞いていたときのことです。これだけで行く先が通じるなんて、カーナビゲーションも真っ青。ただし、説明のときは身振り手振りが外国人のようでした。
ペンネーム：どぎゃん

乳飲み子の娘を抱きかかえてスーパーマーケットへ。目当ての商品では、すでに取り合い合戦が。「無理だ…退散しよう…。すると、ひとりの女性が「何がいます？」と代わりに取ってきてくれました。あのとき作った肉じゃがの味は、今でも忘れられません。
ペンネーム：買物戦線異常ナシ！



皆さんからのお便りを募集しています！

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、100字程度（応募者多数の場合は選考）。※表記などを統一するため、趣旨を変えず文章を直すこともあります。

▶応募期限=5月10日☑まで（必着）。
▶応募方法=寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入し、天草市役所秘書課へ提出してください。

【郵送・持参】
〒863-8631 市内東浜町8-1（郵送の場合は住所記載不要）
天草市役所・秘書課広報聴係
【電子メール】
hisuyoka@city.amakusa.lg.jp

かんたん

さっぱりとシシト

おいしい

～三色サラダ～

●材料・分量 (約4人分)

さやいんげん … 150g	A {	マヨネーズ … 大さじ2
コーン(冷凍) … 50g		麦みそ … 小さじ1
ミニトマト … 100g		砂糖 … 小さじ1
		酢 … 小さじ1

●作り方

- ①さやいんげんは筋をとってゆでる。斜めに2～3等分にする。
- ②コーンもさっとゆで、ミニトマトは4等分する。
- ③Aの調味料を混ぜ合わせ、①②をあえる。



さやいんげんは、カロテンやビタミンB群などを含み、代謝をスムーズにするので疲労を回復する効果が期待できます。さっぱりとした味付けで、彩りもあざやか。ぜひお試しください。

提供：市食生活改善推進員協議会



恐竜の島まるごと博物館

天草御所浦ジオパーク



アンモナイト館とその周辺



▲アンモナイト館とアンモナイトの化石

御所浦町牧島にあるアンモナイト館には、直径60cmで九州最大級と推定されるユーパキディスカスという種類のアンモナイトの化石が、約8,500万年前にたい積してできた姫浦層群とよばれる、黒色の泥岩に埋まったままの状態で見学されています。この化石は、市の天然記念物にも指定されており、館内はいつでも自由に見学ができます。一方、同館周辺には、約5,000万年前にたい積した^{みろく}弥勒層群とよばれる赤色岩も見られ、恐竜時代とほ乳類時代の2つの地層が接する“不整合”があります。

このほか、周囲は希少蝶のクロツバメシジミや、絶滅^き危惧種に指定されているツメレンゲの生息地でもあり、現在、繁殖に適した環境づくりが進められています。

【問い合わせ先】 御所浦白亜紀資料館 ☎0967-2325

「石の上にも3年」。冷たい石の上でも、3年も座り続けていればあたたまるという意味で、がまん強く辛抱すれば、必ず報われるということわざです。広報担当になって3年目がスタート。気持ちもあらたに、がんばりたいと思います。そして、ことわざ通りになることを信じて…。

【素】

私の地元で開催された「牛深ハイヤ祭り」の取材に行ってきました。カメラを構えていてもつい「ハイヤ節」を口ずさみ、自然にからだが動いてしまいます。祭りは、参加するほうが断然いいと思ながらも、たくさん元気と笑顔写真を撮ることができ、充実した一日でした。

【海】

猫が3匹生まれました。目が開いたばかりでも、もぞかです。母猫はあまりなついていませんが、子猫は抱きかかえることができるので、真っ白な毛をなでながら、成長を見守っています。大きくなったら「しんどば走ってさるく姿」を見ることができ、るかもしれせん。

【凡】



編集後記

市政だより



【編集・発行】 熊本県天草市役所 総務部秘書課広報広聴係 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111 FAX 0969-22-7016 URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/> E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp